

令和3年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(モニタリングサイト1000)里地調査

生物多様性センター

愛媛県生物多様性センターでは、環境省が全国規模で基礎的環境情報の収集と長期生態系観測を行う重要生態系監視地域モニタリング推進事業(モニタリングサイト

1000)里地調査において、四国地区重要監視地点(コアサイト)となっている東温市上林地区における水質調査を、平成20年度から実施している。

令和3年度も引き続き、拝志川流域の5地点(河川4、ため池1)で4月27日、6月24日、8月24日、10月22日、12月24日、2月21日の計6回調査を実施した。結果は以下のとおりである。

令和3年度モニタリングサイト1000里地調査(水質調査)結果*

調査項目	4月	6月	8月	10月	12月	2月
水温(℃)	12.0	17.3	18.6	12.9	8.0	3.5
	17.8	25.2	23.8	16.5	7.0	2.2
水位(cm)	15.2	21.8	27.4	21.8	25.3	21.5
	760	760	760	610	610	580
水色	—	—	—	—	—	—
	16	16	20	20	21	21
透明度	100.0	100.0	97.5	98.8	100.0	100.0
	100.0	75.0	90.0	95.0	100.0	100.0
pH	7.1	7.3	7.1	7.2	6.9	7.0
	6.8	7.4	6.8	6.8	7.0	6.8

※上段は河川4地点の平均値、下段はため池1地点の値

調査方法は、「モニタリングサイト1000里地調査マニュアル」(環境省・(財)日本自然保護協会)による。

令和3年度特定希少野生動植物保護区巡回調査

生物多様性センター

愛媛県野生動植物の多様性の保全に関する条例により、特に保護を図る必要がある23種が「特定希少野生動植物」として指定されている。中でも、生息地が限られ保護の必要な6区域が「特定希少野生動植物保護区」として指定されており、定期的な巡回を行うとともに生息・生育状況の調査及び保護区の管理を行った。

1 片上地区アキサンショウウオ保護区

4月23日、6月17日、7月13日に幼生は確認できなかった。7月13日時点で、降雨による土砂の堆積が進んだが、1月までに土砂の除去が行われた。3月11日には卵囊が2個確認できた。

2 宅間地区アキサンショウウオ保護区

4月23日、卵囊はふ化しており、幼生を確認。6月17日に幼生は確認できなかったが、例年この時期までに保護区の水場から山林へ移動している。7月以降、降雨によ

る土砂の堆積が見られたが、10月までに土砂の除去が行われた。保護区に通じる山林側の水路で、2月15日に卵囊が2個、3月11日に卵囊が5個確認できた。

3 台地区ナゴヤダルマガエル保護区

6、9月に保護区の状況を確認したが、保護区の開発等はない。なお、ナゴヤダルマガエルの生息は確認できていない。

4 庄内地区ハッチョウトンボ保護区

年間を通じて、湿地状態が維持された。(梅雨明け後、7~8月の降水がない時期は保全団体が灌水を実施)5月中旬から羽化が始まり、約800頭が確認された。

5 織田ヶ浜地区ハマビシ保護区

6月17日に発芽が確認され、約3cmの株幅であった。7月13日には株が広範囲に生育しており、開花も見られた。7月19日から8月8日の間、降雨はなかったが、生育は良好で果実も見られた。8月24日、9月14日には多くの果実が見られたが、10月14日には葉の黄化や落葉が見られ、12月14日には地上部は見られなかった。

6 織田ヶ浜地区ウンラン保護区

4月16日に多数の株が確認された。6月17日にはハ